

A 学校体育・スポーツ施設調査票の記入上の注意

1 学校体育・スポーツ施設の定義

ここでの学校体育・スポーツ施設とは、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の学校教育活動のために設置されている体育施設及び専修学校、各種学校が生徒用に設置するスポーツ施設を意味する。

2 調査対象施設

調査の対象となる体育・スポーツ施設は、貴都道府県域内の公立（組合立含む）、私立（株式会社立含む）、公私立大学附属の高等学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校、各種学校の全ての体育・スポーツ施設とする。ただし、大学附属校の体育施設のうち、学部学生等と共有しているものを除く。

なお、国立大学法人附属校の体育施設は除く。これらについては別途に調査している。

3 I 基礎的事項欄の記入

- (1) 項目1の都道府県番号、項目2の市区町村番号には、総務省が設定した全国地方公共団体コードを記入する。
- (2) 項目6の市区町村人口は、平成27年10月1日現在の数値を住民基本台帳に基づいて記入する。
- (3) 項目7の調査担当者の欄には、必要な連絡ができるよう、所属課名及び電話番号を記入する。

4 施設種別と内容の説明

- (1) これらの欄には、学校体育・スポーツ施設の現況について記入する。
なお、私立学校については、各学校の協力を得て可能な範囲で調査を行う。
- (2) 施設種別の内容については【施設種別の定義】を参照すること。
- (3) 「その他」の欄には【施設種別の定義】にある施設種別番号を（ ）に記入する。その場合、施設数の多い順に上から記入する。
- (4) 総合スポーツ施設、総合体育館などのように複数種別の施設が集合しているものについては、個々の施設に分けて、それぞれの欄に記入する。
- (5) プールについて、同一敷地内に複数設置されていれば、その数を記入する。
- (6) 併設校の場合には重複しないように記入すること。
(例：中、高等学校の場合には高等学校の欄に記入)
- (7) 【施設種別の定義】にある施設でも、その規模が最低基準に達しない施設は記入しないこと。
- (8) 算用数字（1，2，3）で記入し、該当のない欄は空欄とする。
- (9) 施設・設備に関して、実際に使用している室等の名称が調査票に示すものと異なる場合は、以下に示す定義を参考にして、その用途に該当する区分があれば、その区分でカウントする。
 - 外国人向け表示：施設の利用に当たって不自由がないように、案内板や説明等に、英語・中国語等の外国語が併記されているもの
 - 簡易昇降機：階段の端に設置して、人が座ってあるいは車椅子ごと昇降できるようになっているもの
 - 点字による案内：施設の利用に当たって不自由がないように、案内板や説明、エレベーターや階段の手すり等に点字が併記してあるもの
 - 障害者浴室（共用含む）：障害者用の浴室、あるいは障害者と健常者の両方に使用できる浴室

5 II,III施設の現況欄の記入

- (1) 施設種別番号の1，2，3，4，5，6，9，10，11，12については規模別に箇所数を記入する。
- (2) 施設種別番号の14，15，16，17については、箇所数のほか（ ）内にコート面数を記入する。